

情報共有

官邸玉座 NISA玉座

※ 6/3 14:10 fix

(2枚:非管理メモ)

↑  
トレンチ立坑 T. ※ NISA 台座 配管等東京電力株式会社  
手許資料

6月3日(金) 福島地域支援室における9時レク、11時レク概要をお知らせします。

## 6/3(金) 9時定例レク概要

## &lt;説明内容&gt;

①プラント関連パラメータの状況報告(6月3日 6:00現在)【口頭説明】

②プラント状況、本日の作業予定について【口頭説明】

○3号機取水口付近からの放射性物質を含む水の流出防止対策指示への報告を本日11時発表予定。

## 【1号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- T/B地下階、トレンチたまり水の水位について
- 原子炉格納容器への窒素封入について
- 仮設原子炉圧力計設置について
- R/B地下階の水位について
- 建屋カバー設置工事について

## 【2号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- トレンチ立坑の閉塞作業について(昨日で閉塞作業終了)

## 【3号機】

- 給水系ラインからの淡水注入について
- T/B地下階たまり水の排水準備について  
(復水器から復水貯蔵タンクへの水の移送)
- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去について

## 【4号機】

- SFPへの淡水の放水について
- T/B地下階の水位について
- SFP底部支持構造物設置工事について

## 【6号機】

- T/B地下階たまり水の仮設タンクへの移送について

## 【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- 高レベル廃液処理設備設置工事について
- 循環型海水浄化装置設置工事について

## 【その他】

- 飛散防止剤の樹脂散布について(有人、リモート車両)
- コンクリートポンプ車、屈折放水塔車による飛散防止剤散布について
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について
- スクリーンピット部からのたまり水の漏えい対策について

## &lt;主な質疑&gt;

- Q. 2, 3号機R/Bへの注水の停止時間は。  
A. 作業準備の関係もあるため現時点では分からない。
- Q. 注水停止についてのポンプ、ホースの位置関係は。  
A. 1号機の建屋カバー設置作業に使用するクローラークレーンが物揚場から移動する際、ポンプのホースを横断する。そのため影響を受けないよう措置を施す。1号機については影響なし。
- Q. 11時発表予定の保安院の指示文書の中身は。残りの2, 3号機の対策についての提出か。  
A. 3号機からの流出に対するもの。2号機については今後も継続するもの。
- Q. 1号機の圧力計設置作業の開始時間は。  
A. 9時からの予定と聞いているが、まだ開始の連絡を受けていない。

Q. 雑固体廃棄物減溶処理建屋の水位が上がっているが、通路側の水位はどうか。  
A. 作業員が現地へ行って計測しており、11時頃計測している。

Q. 3号機復水器からの移送終了の目安は。  
A. 12m<sup>3</sup>/hのポンプ2台で実施しており3~4日ほどかかる予定。  
見通しが分かり次第お知らせする。

以上

---

### 6/3 (金) 11時随時レク概要

#### <説明内容>

①福島第一原子力発電所3号機取水口付近からの海水からの放射性物質を含む水の外部への流出に係る対応に関する経済産業省原子力安全・保安院への報告について(その2)【資料配付】

#### ②本日の作業状況の補足

- ・1u仮設原子炉圧力計の設置の作業開始について
- ・循環型海水浄化装置の電源ケーブル搬入について
- ・2u復水器への水移送について

#### <主な質疑>

- Q. 評価ケースでは雨は考慮しているのか。  
A. 資料の「添付5」で降雨について触れている(資料説明)。  
降雨が100ミリあると50ミリ程度水位が上がると考えている。
- Q. 対策を講じないとトレンチ水位等はどうなるのか。  
A. ピット、立坑の閉塞作業等の対策は漏れに対するものであるため、それをしなくとも大きな変動はないと考えている。
- Q. 6ページケース1の「最下端」を具体的に。  
A. 地下1Fの貫通部の最下端レベルがOP4000。サブドレンの地下水位から△90cmレベルが、5600レベルになる。
- Q. 移送に申請は必要か。必要ならば、6/15までにできるのか。  
A. 必要だが、余裕をもって調整する。計画書として保安院に提出しているので、改訂をするようになる。
- Q. 1uの仮設原子炉圧力計の作業は何名で行うのか。  
A. 12名予定。

以上

情報共有

(3枚 非管理用)

官印班.NISA対応 7/13 対応下  
※NISA命令お渡し済 6/4 9:30 f.c

東京電力株式会社  
手許資料

無題

昨日(6/3) 福島地域支援室における「臨時レク(18:00~)」、「20時定例レク(20:20~)」概要をお知らせいたします。

### 6/3(金) 臨時レク概要(18:00~)

#### <説明内容>

①「福島第一原子力発電所における当社社員の被ばく線量の評価作業状況について(続報)

#### 【資料配付】

- ・空気中の線量の高い時期に取り込んだと思われる。
- ・詳細調査は、今後、放射線医学総合研究所により行っていく。
- ・メンタル面も含めケアしていく。
- ・現場での作業は、バルブ操作、中操監視、現場操作等。

#### <主な質疑>

Q. 線量に幅があるが、線量を一番高く見積もった場合いつ頃か。また低く見積もった場合いつ頃か。

A. 高かった時期は3/11の数日後。逆に低かった時期はサイトを退出した5/23までの間で最後にプラントへ行ったのがいつか分からないため確認できていない。

Q. 2人は現在どこにいるのか。

A. 放射線医学総合研究所の指導のもと、健康診断や内部被ばくに関する状況を聞いているものと思われる。

Q. 入院しているのか。

A. 当社の管理下から離れ放射線医学総合研究所の管理となっているのではっきり分からないが、近くのホテルに滞在していると思われる。

Q. 500mSv超の可能性もあるのか。それに対する東電としての見解は。

A. 250mSvを超えないように管理してきたが、当社として残念で反省すべき点が多々ある。この教訓を今後反映させていきたい。

Q. 反省すべき点は、ヨウ素剤を服用する量や時期か。

A. ヨウ素剤は産業医の指導に基づき服用しているが、そのことを含め調査していく。

Q. 被ばくした2人は、自分の線量を把握しているのか。

A. 本人達に説明している。

Q. 同じ状況下にあった作業員は何人くらいか。

A. 120~130人で内部被ばくについて評価中。

Q. どれくらいの時期に結果は出るのか。

A. 6/13までに暫定評価をし、厚労省へ報告することになっている。また250mSv超が判明した場合は、判明した時点で公表する。

Q. 250mSv超の被ばくをした可能性のある2人は、体調不良等訴えていないのか。

A. 訴えていない。

Q. 120~130人の中に発電所長は含まれているのか。

A. 含まれていない。

Q. 内部被ばくの評価が終わった中で、250mSv超は2人だけか。

A. 5/30の段階で1,422人の測定を実施した。その中で暫定で20mSv超が40人いたためJAEA東海で詳しい検査をした。このうち5人がJAEA東海でWBCの詳細評価が終了しており、うち2人が高線量だったことが判明した。

Q. 5人中の他の3人は250mSvを超過していなかったのか。

A. その通り。暫定で違っていない。

Q. 250mSv超初めてか。

A. その通り。

Q. 作業員本人達には知らせているのか。

A. 厚労省より6/30までに作業員全員に線量を通知するよう指示があり実施する。

ページ(1)

6/3 (金) 20時定例レク概要(20.: 2.0.~)

<説明内容>

①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(6月3日 午後3時現在)」

【資料配付】

②「福島第一原子力発電所で使用する大型タンクの輸送について」【資料配付】

③「独立行政法人日本原子力研究開発機構高速増殖炉もんじゅの非常用ディーゼル発電機で確認されたシリンダライナの傷を踏まえた確認等についての指示文書について」【資料配付】

④「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第七十報) 【資料配付】

⑤「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について(第七十二報)」

【資料配付】

⑥「福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について(6月2日採取分)」【資料配付】

⑦「福島第一原子力発電所沖合における海底土の放射性物質の核種分析の結果について(続報)」【資料配付】

⑧「集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果」【資料配付】

⑨プラント関連パラメータの状況報告【口頭説明】

⑩本日の作業状況、明日の作業予定【口頭説明】

【1号機】

- T/B地下階、トレンチたまり水の水位について
- 仮設原子炉圧力計設置について
- 原子炉代替冷却設備設置工事について
- 建屋カバー設置工事に伴うガレキ撤去について

【2号機】

- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 復水器への移送について

【3号機】

- トレンチ立坑、T/B地下階の水位について
- 代替冷却設備設置のためのガレキ撤去について

【4号機】

- SFPへの放水について
- T/B地下階の水位について
- SFP底部支持構造物設置工事について

【集中廃棄物処理施設】

- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- 高レベル廃液処理設備設置工事について
- 循環型海水浄化装置設置工事について

【その他】

- 飛散防止剤の樹脂散布について(有人、リモート車面)
- コンクリートポンプ車、屈折放水塔車による飛散防止剤散布について
- リモートコントロール重機によるガレキ撤去について

<主な質疑>

Q. 2号機で、復水器へ移送する水は立坑の水か。

ページ(2)

無題

A. その通り。

Q. 移送量は。

A. 揚程35m、18m<sup>3</sup>/hで移送する。  
移送状況を見ながら量は調整していく。

以上

ページ(3)